

2020年度 和歌山市立東中学校 スクールプラン(学校運営計画書)

校長名 中山 眞弘

作成日 2020年 5月 1日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 子供の学力を定着させてほしい
- 明るく楽しい学校にしてほしい
- 思いやりのある子供を育ててほしい
- たくましい子供を育ててほしい

【学校教育目標】

自ら考え思いやりのある個性豊かな
たくましい生徒の育成

【めざす生徒像】

- ・向学心のある生徒
- ・個性豊かな生徒
- ・たくましい生徒
- ・思いやりのある生徒

前年度の学校評価

- 落ち着いた授業態度で、研究授業も積極的に行われている
- 地域行事への参加がみられるが、より多くの交流に期待する
- 地域・家庭への発信が弱い

生徒の実態

- あいさつがよくできている
- 真面目な授業態度で臨むことができる
- 主体的に考え行動できる生徒が少ない
- 自己肯定感の低い生徒が多い

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎主体的な学びの形成
- 家庭学習の定着

豊かな心の育成

- ◎道徳・人権教育の充実
- ◎いじめの未然防止、早期発見
- 仲間づくりの実施

健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- 危機回避能力の育成

地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携
- ◎小学校等との連携協力
- 外部資源の活用

◎：特に重点的に取り組むこと

具体的な取組

- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を大切に授業を行う
- 「学びあい」を積極的に取り入れた授業改善を行う
- 家庭学習の習慣を身につけさせるため、宿題の取り組みを進める
- 特別支援教育の重要性を認識し、特別支援教育の目線に立った教育を行う
- 定期的な放課後補習、長期休業中の特別教室を実施する

- 道徳授業を充実することで道徳的実践力を養う
- いじめアンケートや教育相談を年間に複数回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める
- 情報モラルやネット社会に潜む危険性について学ぶ機会をもつ
- 人権・同和教育に組織的計画的に取り組む
- 部活動を工夫し、自己有用感、所属感、連帯感の高揚に取り組む

- 体育や体育行事等を通して、体力、健康の増進に取り組む
- 「早寝、早起き、朝ご飯」を推奨する
- 昼食指導や保健だよりを通して食育に取り組む
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する

- 各種便り、HP等を通して積極的に学校の情報発信に努める
- 授業や行事等を積極的に公開する
- 地域の各種団体と連携を図り子供に関わる情報交換を行う
- 校区内の学校との連携を推進・充実する
- ゲストティーチャー、部活動指導員、学生ボランティア等の活用を図る

指標

- ・県学習到達度調査で全教科の正答率が県平均を上回る
- ・授業が楽しくわかりやすい（生徒肯定的回答80%以上）

- ・学校が楽しい（生徒肯定的回答95%以上）
- ・みんな、気持ちの良い挨拶をしている（生徒肯定的回答85%以上）
- ・教育相談の毎学期実施
- ・いじめの解消率100%

- ・規則正しい生活をし、遅刻ゼロを目指す

- ・子供の活動の様子を分かりやすく伝えている（保護肯定的回答80%以上）
- ・授業参観の実施回数2回以上